

「2009 名古屋プラスチック工業展」

10月4日から4日間、ポートメッセなごやで

情報交換の場「交流広場」を設置



前回展のオープニングのもよう (2006年)

「2009名古屋プラスチック工業展」が10月4日(日)～7日(水)の4日間、名古屋市港区金城埠頭のポートメッセなごやで開催される。

同展は中部地区で唯一最大のプラスチック専門展で、今回で29回目となる。開催規模は、出展企業104社・5団体、210小間となった。会場時間は午前10時～午後5時。入場料500円となっている。現在の厳しい経済情勢の影響で出展企業数、小間数ともに減少を余儀なくされた。

協会も主催団体として「交流広場」を設け、会員の方々など来場者が気兼ねなく立ち寄り、情報交換ができるスペースを用意する。

協会・組合専用コーナーでは、正会員企業の出展とパンフレットの展示、機関誌「プラスチック中部」全号の展示、射出成形現象の可視化DVDの上映などを実施する。

また、当コーナーに立ち寄られた来場者には、

来場記念としてプラスチック製品を進呈する予定である。

この他にも講演会「国産IABPバルーンカテーテルの開発」「自動車用プラスチックの将来動向」や各種セミナーも開催されます。自動車・医療・航空機・農業・住宅等各分野の最先端製品も展示予定である。

是非、ご来場ください。



富山県との交流会を開催

タカギセイコー、ワシマイヤー見学
記念講演会も熱心に聴講

富山県プラスチック工業会との第2回交流会を、8月27～28日の日程で工場視察を兼ねて富山県で開催した。後藤会長、児玉理事長を始め総勢15名が参加した。

27日名古屋駅をバスで出発し、東海北陸自動車道を経由し、午後1時30分富山県射水市にある正会員の(株)タカギセイコー新湊工場に到着。早速会議室で工業会の会長でもある笠井社長より歓迎の挨拶の後、斉藤工場長、織田金型工場長より会社の概要について説明を聞いた。新湊工場では情報機器部品、車両部品などを生産、特に二輪車の部品は全ての国内メーカーと取り引きがあり、塗装した外装部品が非常に多かった。独自の「TS生産一貫システム」を構築し、製品設計から完成までをオンライン化し効率アップを図っている。また、5S活動を実践し、人材育成に熱心に取り組んでいた。



タカギセイコーにて



正面は挨拶する後藤会長

午後4時から富山市にある富山第一ホテルで交流会が開催された。第1部として経済産業省製造産業局自動車課課長補佐笠間太介様より「世界の電気自動車開発と社会の変化」と題して、世界の自動車市場の現状、制約要因と次世代自動車、電気自動車化の課題と取組みなどについて講演された。

休憩を挟み隣の会場で懇談会を開催した。笠井、後藤両会長の挨拶の後、業界における課題などについて意見交換を行った。笠井会長が挨拶のなかで、出荷額10兆円で全産業中5%を占める大きな業界であるが、業界のリーダーがわからない。工業会と協会、連合会との関係や中部の他県との関係など業界の全国的な組織構成が解りづらいとの意見があった。服部連合会長から連合会の組織、活動内容などについて縷々説明があった。後藤会長からは昨年来懸案となっている中部五県の業界団体代表者による会合を早急に開き、中部のプラスチック業界の交流会、親睦会に発展させていきたいと意見表明があった。各県団体のネットワークのうえに連合会があり、情報交換・伝達や国への要望ができるようにすることが必要である。早急に協会が各県の代表者に呼びかける。児玉理事長（中央技能検定委員）から工業会から申し出があった

射出成形機とホットプレス機の製造・販売

射出機の「^{いま}現在」を創り、
「^{これから}未来」を変えていく。



株式会社 名機製作所

〒474-8666 愛知県大府市北崎町大根2
TEL (0562)47-2391(代) FAX(0562)47-2395
<http://www.meiki-ss.co.jp>

工業薬品・合成樹脂・食品添加物・包装材料



睦物産株式会社

〒450-0002
本社：名古屋市中村区名駅5丁目23番5号
TEL 052-571-5121(代) FAX 052-565-0346
支店：東京・大阪 営業所：静岡

技能検定職種に押出成形を追加する件は、中央職業能力開発協会に要望していると説明があった。

懇親会は服部名誉会長の乾杯で始まった。懇談会と変わって和やかな雰囲気の中、交流が深められた。最後に中西副会長の中締めで終了となった。

翌日は高岡市にあるワシマイヤー(株)を訪問した。この会社は鍛造ホイールでは世界のトップメーカーで、「BBS」のブランドで知られ、レースの最高峰F1のチームをはじめ世界の有名な自動車メーカーに納入している。谷川副社長から会社の概要・沿革、製造工程や品質管理、検査方法などの説明を受けた。展示してあるホイールが1本200万円と言われると驚きである。金型も自社で製作し、一貫生産を行い高い品質を保持している。手作業が多いように感じられたが、既に多くの工程で職人の技術をデータ化し、自動化がなされていたのには驚かされた。



ワシマイヤーにて

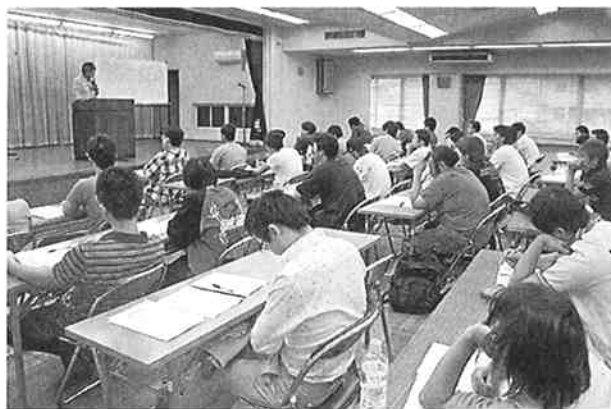
学科講習会 成績優秀

技能検定学科予備講習会が、8月2日午前9時30分から、名古屋市中企業福祉会館（中区大須）で開催された。不況の影響なのか受講者が

89名と非常に少なかった。

事務局から8月23日に実施される本試験に向けての対策と注意事項の説明が行われ、9時45分から模擬試験（真偽法50問＋四者択一50問）に挑戦した。昼食休憩を挟んで午後12時30分より、中部日本プラスチック職業訓練校講師の林盛彦先生による解答と解説が行われた。

最後に模擬試験の成績結果が発表されたが、今年は成績が非常に良く最高点は1級98点、2級89点、平均点は1級67.2点、2級60.4点という結果であった。



熱心に取り組む受講者ら

平成21年度後期技能検定実施計画

内 容		期 日
実施公示		平成21年9月1日(火)
受検申請の受付		平成21年9月28日(月)) 平成21年10月9日(金)
実技試験問題公表		平成21年11月20日(金)
実技試験	1・2・3級	平成21年11月30日(月)) 平成22年2月21日(日)
	特 級	平成22年1月31日(日)
学科試験	1・2・3級	平成22年2月7日(日)
	特 級	平成22年1月31日(日)
合格発表		平成22年3月16日(火)
合格証書交付		平成22年5月中旬

ISONO

いそのプラスチック材料

有限なる資源を限りない人生の幸福のために

いその株式会社

名古屋市東区相生町55 〒461-0012
TEL<052>931-1211(代)
FAX<052>930-1975

『難加工技術展2009』を見学

中部日本プラスチック職業訓練校

中部日本プラスチック職業訓練校は「金型の構造」の授業で、7月3日に第2回目の開催となる『難加工技術展2009』を見学した。

当日は、黒部文仁先生の引率で訓練生6名が参加した。同展では、難削材加工、難加工材成形、難形状加工等を見学。今回は、『大物部品加工ゾーン』『試作市場（試作加工受託ゾーン）』が新たに設置され、関心が寄せられていた。

参加者から提出されたレポートの一部を次に紹介する。

【鈴木化学工業所：H.W】

今回参加した難加工技術展2009は難削材加工、難加工材成形、難形状加工など難加工に関わる技術、機械・機器/周辺要素、材料など出展された各企業の注目された製品をいろいろ紹介していました。

なかでも私は2社注目しました。1社目の会社はテクノクラーツです。金型成形では不可能であったアンダーカットが簡単に抜けるコンパクトな新機構ユニット紹介していました。

これは従来のアンダーカット成形機構での安全傾斜15度をはるかに超える傾斜角度45度でも、非常に小さい抵抗で滑らかに摺動し、アンダーカットが成形できるものでした。

まだ詳しく金型のことは分かりませんが、ここではアンダーカットの種類や特性を詳しく知ることができました。

2社目は原製作所です。ここは、非接触型光学式3次元デジタイザを使い、あらゆる立体形

状を測定して3Dデータの作成をやっていました。注目したのは文化財保護のため数百年前に作られた仏像などの測定です。非接触で測定できるため、仏像になんら影響を及ぼす事なく、高精度な3次元スキャンデータから造形・切削加工・ポリゴンデータ化等をし、具体的な形を取ることができ仏像修復、形状保護などその形状を後世に残す事もできます。

実際に原物の形状と3次元スキャンデータから取得した形状を見比べてみるとどちらが原物か分からないほど細かく作られていたのには驚きました。

今回、難加工技術展2009に参加して、今まで私が知らなかった様々な分野の製品や技術を見て色々な発見がありました。また、より難しい加工が求められる現在において、「難加工に対する技術・機械/機器などへの要求（ニーズ）に応えること＝製造業の競争に勝ち抜くこと」であることを覚えました。

【山宗：D.K】

7月3日、職業訓練校の講義の一環として、難加工技術展2009を見学しました。この展示会は、加工が難しい材料をどのように加工するかという分野に的を絞った内容でした。出展企業は主に、様々な素材を高精度で加工するという機械を出展しており、全国各地から多くの企業が参加していました。見学したなかで最も印象に残った企業を紹介します。

まずは、訓練校の講師の黒部先生からの推奨で、テクノクラーツという企業を見学。ここでは、特許を取得したというアンダーカット処理機構を紹介していました。我々樹脂成形に携わる者としては、直接関わりがある内容でしたの

BLOW MOLDING

ゴトープラスチック株式会社

取締役会長 後藤 壽夫

〒452-0838 名古屋市西区長先町59番地
TEL (052) 502-7671
FAX (052) 502-6451
Mail: t.goto@goto-plastic.co.jp



株式会社 三幸商会

取締役社長 若尾 剛

名古屋市千種区内山三丁目3番2号 〒464-0075
TEL (052) 733-5111(代) FAX (052) 733-5141

Sanko Shokai Co., Ltd

3-3-2, Uchiyama, Chikusa-ku, Nagoya, Japan
TEL : (052) 733-5111 FAX : (052) 733-5141



展示会を見学する訓練生ら

で、非常に興味を持って話を聞くことができたと思います。スライドコアセットやルーズコアセットなどのアンダーカット部分を処理する機構の見本の金型が展示されており、実際にどのように抜けていくかを見る事ができました。エジェクタプレートが無い位置でも取り付け可能であったり、抜き方向を自由に選択できたりと、驚くべき機構ばかりで非常に勉強になったと思います。

次に(株)東洋硬化という、工業用クロムめっきを施す企業を紹介します。著しく磨耗した金属部品にクロムめっきを施すことにより、新品同様にまで再生、新品と見違えるほどでした。金属は使用するうちに錆びてきますので、メンテナンスが非常に重要となってくると思います。また表面だけでなく、内面切削により軸受け部・シリンダーなどの内面円筒形状物の精密加工も行なっているそうです。成形機、金型などのメンテナンスの際には、ぜひ仕入先の成形メーカーに紹介したいと感じました。

最後に紹介するのは、3Dデータサービスを行う、(有)原製作所です。私は頻繁に3次元測定機で製品の測定を行っているため、3次元立体形状測定というデータ作成のサービスに興味を持ちました。これは「RES」というもので、光学式のカメラで対象物をスキャンし、測定はもちろん、CADデータの作成・光造形による試作の成形など、様々なことが行える3Dデータ化サービスです。この企業のブースには、恐竜のフィギュアの光造形品や、会長の方の顔（マ

スク）の光造形品などが展示されていて、本物顔負けのリアルさに驚きました。このサービスを利用すれば、図面が残っていないような古い製品などの寸法も測定できるので、非常に利用価値は高いと思いました。

今回この展示会に参加し、樹脂の成形とかなり関係が深い企業ばかりで、とても勉強になったと感じています。しかし見学して終わりではなく、興味を持った企業を詳しく調べてみるなど、さらに掘り下げていきたいです。

【西浦化学：NS】

今回は難加工技術展ということで「ポートメッセなごや」を訪れました。難加工といっても私は加工作業に携わったことがなく、どのような加工が難加工に分類されるのかは分かりません。世の中の物がどのように作られているのか、又どのような材料が使われているのかが少しずつですが、理解できるようになったと感じています。

プラスチック成形の授業でも取り上げられた射出成形粉末冶金法も紹介されており、実際の製品を手にとることができ、その精密さ、金属の選択枝の自由度に将来性を感じ、今後に期待を持つことができました。

このような難加工は、おそらくコストがかかるとお思いますので、現場としてはどのような加工方法を選択するかは慎重に決定する必要があります。ユーザーの要望を満足する為には、こういった技術を積極的に取り入れていきたいと思いました。

取出用ロボット・FAシステムの総合開発

STAR

株式会社スター精機
名古屋支店

〒480-0132 愛知県丹羽郡大口町秋田3-133

TEL 0587 (95) 7557 FAX 0587 (96) 1291

浜松営業所 TEL 053 (432) 6131 富山出張所 TEL 076 (492) 3260
静岡出張所 TEL 054 (289) 2241

本社・工場/〒480-0132 愛知県丹羽郡大口町秋田3-133 TEL0587(95)7551(代)
出業工場 /〒699-0631 鳥取県藤川郡斐川町大字直江町3538 TEL0853(72)4311

<http://www.starseiki.com>

スケッチ

「人、技術を育て会社力を強化」 自動車、電力関連部品の拡大を図る

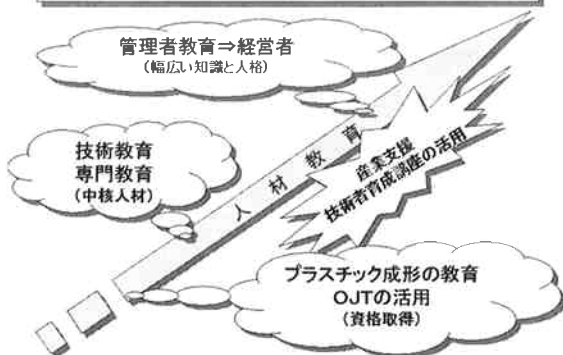
宝永プラスチック株式会社

代表取締役 山本 直樹

宝永プラスチック(株)は昭和21年富士電機(現在の富士電機ホールディングス)と宇部興産の一部門が合併し、「明和化成」として生まれた。昭和38年三重県に「明和化成四日市工場」を新設した。当時、富士電機が販売していた家電製品(クーラー、冷蔵庫、ジューサーミキサー、扇風機など)の部品を生産していた。しかし昭和45年に富士電機が家電業界から撤退し、自動車販売機の生産に転換、同社の生産製品も大きく変化した。現在の宝永プラスチック(株)は昭和52年に「明和化成」から分離独立し富士電機グループ製品以外に自動車関連部品、電力関連部品など担当分野の拡大を図っている。

その中で当社は「人材育成」に力を入れている。当社の現状として50代は職人肌の社員が多く、会社幹部は30代後半から40代前半に世代交

能力開発システム



技術とハートがスパークする
ドラマチック創造企業

プラスチック、セラミックス、MIM金型

 株式会社 三洋製作所

本社工場 名古屋市緑区鳴海町下汐田177番地

TEL052-621-5238 FAX052-621-3501

代し、現場は20代、30代が中心となってきている。

同社の能力開発システムは、大きく「技量」、「技術」、「管理者」の3段階に分けて実施されている。「技量」の段階ではOJT(オン・ジョブ・トレーニング)を中心に5年で必要とする資格取得させる。「技術」の段階ではお客様との連携による技術の向上を図る。現在は新たに導入した流動解析技術を提供し、顧客の初期開発コストの削減に寄与している。

また同社では、開発のリードタイムが短縮され年間の開発件数の拡大、受注獲得率の向上と「セールスエンジニアリング」での教育を行っている。さらに、国や県が支援する技術者育成



富士電機製品

講座へ参画し異業種交流も行っている。「管理者」の段階では担当者から経営者への脱皮を目的とし、会社経営に関する教育と関連する知識の幅も広げさせている。経営環境の厳しい中ではあるが「人を育て、技術を育て、会社力を強くする」ことにこだわり取組んでいる。従業員96名。

〒510-0013 三重県四日市市富士町1-27
富士電機リテイルシステムズ三重工場内
第2事務所2階

Tel 059-330-1572 Fax 059-330-1634

 中央三井信託銀行

名古屋支店 TEL.052-242-7311

〒460-0008 名古屋市中区栄3丁目15番33号栄ガスビル

JPO 合同研修会

日精樹脂工業を見学

昨年に引き続き8月7日東日本、西日本、愛知の青年部による合同研修会が長野県坂城町にある日精樹脂工業(株)本社で工場見学を兼ね開催され、東日本7名、西日本9名、愛知4名が参加した。昨年の合同研修会の折り依田社長が来賓として出席され、その後の懇親の場で今年の開催が決まった。

午後1時30分本社2階の会議室に3団体の参加者が顔を揃え、挨拶を交わした。依田社長から「本日ここで昨年に続いて3団体の青年会が予定通り交流ができて大変光栄です。大いに楽しみ親睦を深めて頂きたい」と挨拶。会社概要説明の後工場内を視察。成形技術センターでは成形機が稼働し、種々の成形サンプルが作られ、中にウレタンでバリが出ない成形も行われていた。組立工場では小型から中型まで製作されており、現在は月産約100台の生産台数であると説明を受けた。最後に歴代の成形機と数多くの成形製品を見学した。途中急に激しい雨になり降り続く中、日精樹脂工業から宿泊先の戸倉上山田温泉「ホテル圓山荘」に向かった。

5時30分から懇親会を開始、日精樹脂工業から依田社長他5名参加いただいた。大変な盛り上がりで楽しく過ごすなか、千曲川の花火大会が始まり、懇親会も中締めとなった。3団体の会長が壇上に上がり、今年度で3人の会長は退任するが3人の副会長全員に対し、来年以降も



日精樹脂工業で

是非この合同研修会を続けて欲しいと強い要請があった。最後は一本締めでお開きとなり、全員で花火大会に出かけた。

翌日は、観光組とゴルフ組に分かれ、それぞれ楽しい一日を過ごした。3時半にゴルフ場で合流して長野駅に向かい帰路についた。

丹羽氏(丹羽トレーディング)が優勝

プラス会 第241回例会

開催日：平成21年7月29日(水)

場所：ロイヤルカントリークラブ
下山コース

スタート：午前8時35分

参加者：16名

天候：曇り時々雨

気温：28.6℃

優勝者：丹羽英昌氏

(丹羽トレーディング)



優勝した丹羽英昌氏(左)

平成21年7月29日「ロイヤルカントリークラブ」

順位	会社名	氏名	OUT	IN	GRS	HC	NET
1位	丹羽トレーディング	丹羽 英昌	43	42	85	15	70
2位	事務局	葛谷 喜信	45	48	93	23	70
3位	鈴木化学工業所	鈴木 啓之	49	47	96	25	71
4位	大宮アスファルト	井上 貴隆	51	45	96	25	71
5位	いその	小島 秀夫	44	41	85	13	72

「共に歩む」正会員と賛助会員の交流コーナー

プラスチック中部では、正会員と賛助会員の交流を誌上で深めるため、『共に歩む』（賛助会員のコーナー）を掲載しております。今回は、(株)東洋化学を紹介します。

株式会社 東洋化学は、人と未来にやさしい環境 づくりを目指す環境企業です。

当社は、1969年（昭和44年）創業以来、再生プラスチック業界のパイオニアとして、各種プラスチックメーカー様から発生する多種多様な廃プラスチックを全国各地より回収し、社内一貫生産・技術開発力の強みを生かし高品質再生ペレットを生産しております。

廃プラスチックの引取業者でお困りの方

当社では、長年の信頼・実績により安定した販売ルートを確立しておりますので、景気に左右されることなく回収・引取が可能です。また、当社専門のアドバイザー（営業）により分別から回収方法まで各事業者毎に最適な回収スタイルをご提案し、廃プラスチックの再資源化に努めます。

再生プラスチック原料の使用をご検討されている方

ISO9001に基づき安定した品質を維持する為に継続的改善をし、お客様の満足していただける再生ペレットの生産をしております。当社では、最新鋭の押出機、また物性試験機を駆使しお客様に最適な物性にカスタマイズし、生産ロット毎に品質管理された高品質再生ペレットの供給が可能です。

サーマルリサイクルからマテリアルリサイクルへお考えの方

当社には、一歩先のリサイクル化に取り組む専門集団（開発部署）を設置しております。現在サーマルリサイクルで処分されている廃プラスチックも当社での研究開発または共同開発によりマテリアルリサイクル化への取組も可能です。

皆様のリサイクル分野をサポートします！



株式会社 東洋化学

〒501-3521 岐阜県関市下之保4927-2
TEL : 0575-40-3011 FAX : 0575-40-3018
URL <http://www.toyochemical.co.jp>
e-mail: ecocycle@toyochemical.co.jp

